

平成二十三年一月二十七日提出
質問 第二〇号

花粉症に関する質問主意書

提出者
馳
浩

花粉症に関する質問主意書

公共機関の調査によると、今年は例年に比べ花粉の飛散量が多いと予測されている。これは昨年の記録的猛暑により、スギの雄花が生育したことが影響している。花粉の飛散量はここ十年でも増加傾向で、花粉症患者もそれに比例して増えている。花粉による被害は深刻であり、健康被害、仕事の能率の低下、医療費の増加など、その影響は様々であり、その損失は大きい。被害が広がってきた現状に対して、花粉症対策に国を挙げて取り組んでいく姿勢が問われている。

従って、次の事項について質問する。

- 一 現在の花粉症患者の人数と割合について、政府の把握される数値を示されたい。
- 二 花粉症による経済的損失はどの程度の規模になるのか、算出される数値を示されたい。
- 三 花粉症の原因としてスギ花粉の飛散はこれまでも指摘されてきているが、これは国の林業政策が大きく関係している。戦後の住宅増設のため、その材料となるスギの大量植林が行われた。その後林業の衰退による山の荒廃でスギが生育を続け、過剰な花粉を放出するようになった。

この点について政府は、過去の林業政策に対してどのような認識・評価をしているのか問う。

四 花粉症患者の増加は、花粉量増加以外にも、都市化、大気汚染、食生活の変化等も挙げられるが、政府の見解を問う。

五 三、四を踏まえて、花粉症の根本的な解決に向けた対応策として政府の取組みを示されたい。
右質問する。